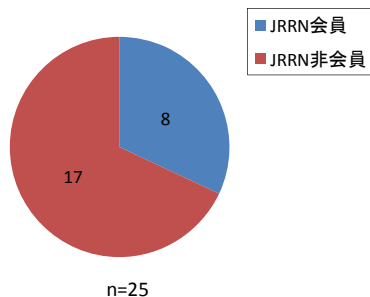


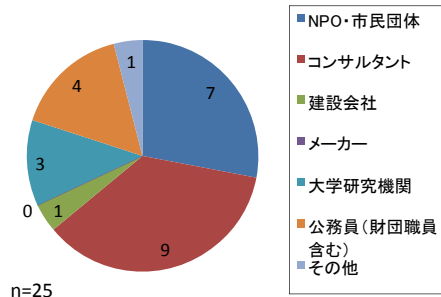
JRRN/ARRN/RFC主催講演会『市民による河川環境の見かた・調べかた～英国「PRAGMO」に学ぶ～』 アンケート集計(2012年12月1日開催)



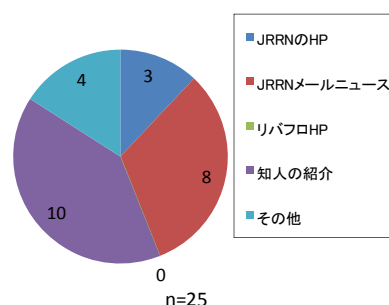
1. JRRN会員・非会員について



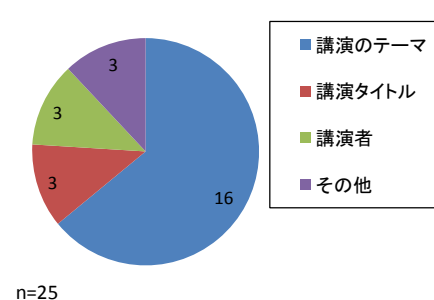
2. 業種、所属団体等をお聞かせください



3. 本セミナーをどこで知りましたか



4. 本行事へ参加した理由をお聞かせください。



5. 興味をもった内容、ご満足頂けなかった点

- ・イギリスの事業に対するモニタリングの制度と、市民団体の役割について
- ・市民モニタリングの生かし方など、参考になった
- ・イギリスの河川環境の運動の一部を知ることが出来た。
- ・PRAGMOを実際に活用してみたいと思う。討論も満足いくものであった。ありがとうございました。
- ・ジェニーさんの話しにあった、情報の集中化と提供を日本でも集めるべきと思う(現在の情報提供は中途半端)。
- ・PRAGMOの思想的背景と使い方
- ・河川環境の改善にいかに関与するかという熱意がないといけなと痛感する。総合討論によるコーディネーターの話で理解が深まった。
- ・「ミズガキ」がおもしろいね！子供をつれて参加してみたい。
- ・PRAGMOは個別の案件に、落とし込みできる興味深いプログラムであると感じられた。作業を横並びで見るという点からも有用と思います。
- ・このようなテーマの講演会はほとんどないので、大変興味深かった。日本語版をつくられた方々の話も聞きたかった。
- ・①アユの生態状況(荒川の事例)、②市民調査(モニタリング)の特性(山道氏)
- ・河川に興味がある市民が、多くの箇所まで活動しているのが良くわかった。コンサルタントとして、このような市民との関わりも重要と考えている。
- ・各講師・パネラーの発言・意見は散分(一分散?)していたように思う。もう少し、見方・調べ方の中のテーマを絞るべきではないか？但し、荒川流域の恵さんの団体の活動内容は、知ることが出来てよかった。リバトラストの発送は、これから注目。設立したい。
- ・モニタリングの目的、手段について効果はどうか。モニタリングの公式化として学ぶのは大切。学校で教育を受けたわけではないので、モニタリングにいたる効能を行かせること必要。モニタリングは手段なので目的から考えること大切。河川事業を最も効果的に進めるモニタリングを誰がどうすればよいのか。
- ・「PRAGMO」の作成背景を活用
- ・実際に英国のPRAGMO責任者の方の話を聴いたので、勉強になった。色々なレベル・分野の代表の方からの話が聴けて良かった。
- ・日本とイギリスの再生事業の枠組みの比較。
- ・日本でも市民によるモニタリングは進化していることが理解出来た。しかし、少しよちよち歩きの団体に対しては、PRAGMOの体系づけられた内容を勉強会として広めていったらと感じました。市民のレベルを区分した議論と、この講演会は、いい川づくりの参加団体に提供出来たらと思いました。

6. 河川環境や河川再生に関し興味を持たれている内容、今後の企画内容の希望など

- ・河川再生という言葉には、少し違和感を感じる。多自然川づくりについて。
- ・アユが住める河川環境について
- ・PRAGMOを実践した結果の事例をまとめて発表していただきたい。
- ・CPD認定にして参加しやすくすべき(もったいない)
- ・コンクリート護岸に守られた人工河川からの開放。
- ・これから少しずつ勉強して参加できれば良いと思う。これまでは河川と関連した仕事でなかったのが新鮮でした。
- ・河川環境の整備事業(魚道設置・水質改善など)についての事業の効果の評価方法について。
- ・①水生動植物の生息状況とその保全・育成、②絶滅した水生動植物の復活再生、③河川・水辺の憩い・触れ合いの場(空間)の創造
- ・実際の再生事例をもっと多く取り上げてほしい。うまくいかなかった例(とくにこれが重要)と成功例の両方。
- ・数年後には、今回の議論を基にした何らかの発展があると良いのではないかなと思う。
- ・市民による・河川環境の見方・調べ方 というキーワード
- ・河川再生の評価を行う際の評価軸の事例(他河川のモニタリング結果)

講演会「市民による河川環境の見かた・調べかた ～英国「PRAGMO」に学ぶ～」
アンケート

日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）
Asian River Restoration Network（ARRN）
公益財団法人リバーフロント研究所

今後のイベントの企画・運営の参考とさせて頂きたく、アンケート調査にご協力お願いいたします。（該当項目に○）

1. JRRN 会員・非会員について

- ①JRRN 会員 ②非会員

2. 業種、所属団体等をお聞かせください

- ①NPO・市民団体 ②コンサルタント ③建設会社 ④メーカー ⑤大学・研究機関
⑥公務員（財団職員含む） ⑦その他（ ）

3. 本セミナーをどこで知りましたか

- ①JRRN ウェブサイト ②JRRN のメールニュース ③（公財）リバーフロント研究所の HP
④知人の紹介 ⑤その他具体的に（ ）

4. 本行事へ参加した理由をお聞かせください。

- ①講演会のテーマに惹かれた ②講演タイトルに惹かれた ③講演者に惹かれた
④その他具体的に（ ）

5. 本日の講座におきまして特にご興味をもたれた内容、ご満足頂けなかった点などがございましたらお聞かせください。（具体的に）

.....
.....
.....

6. 河川環境や河川再生に関し興味を持たれている内容、今後の企画内容の希望などがあればお聞かせ願います（今後の取り上げて欲しい内容、テーマ、講演を聞いてみたい講師など）

.....
.....
.....

ご協力、ありがとうございました。お手数ですが受付に設置してある投函箱にお入れいただくか、スタッフにお渡しください。